

(a)



(b)

図 15.48 東芝ワイヤリモコン RM 201 A-J 形

**Toshiba wire remote control unit,
Model RM 201 A-J**



図 15.49 東芝ラジオ
“かなりやV”

**Toshiba radio receiver,
Model 5 UL-607**



図 15.50 東芝ラジオ
“かなりやJ”

**Toshiba radio receiver,
Model 6 ZL-609**



図 15.51 東芝ラジオ
“うぐいすL”

**Toshiba radio receiver,
Model 6 ZC-611**

に取付け、これを同図 (b) に示すコードで接続されたコントロールボックスにより電源の点滅、放送チャンネルの切換え、音量の調整およびイヤホンの接続が手元で自由に行なえる。しかもチャンネルの切換えは左右いずれの回転も可能であり、不要のチャンネルは自動的に通過する自動選局機構となっている。また操作機構は小形で強力な電動機と低力率交流用電解コンデンサを使用しているので性能が向上している。

15.6 ラジオ、音響機器

15.6.1 東芝ラジオ

かなりや級 一人1台を目標のベッタラジオとして消費電力の少ない経済的機種で、量産の合理化による低廉なQは3色の色替りキャビネットをそなえ、音と意匠を主にした標準形のV (図 15.49) をはじめ、2スピーカー方式のS、Xおよびマジックアイと音質調整器を持つ高級形のJ (図 15.50) がある。

うぐいす級 L (図 15.51) はNFB回路その他の特徴をもち、音質重点機種としてレコードプレーヤを接続して簡易電番としての用途も十分備えている。

15.6.2 東芝トランジスタラジオ

6石式から11石式まで数々の新技術を採用し、中でも超高感度を誇る一連の“ハイエスシリーズ”を開発した。

ポケット形は6P-22、7P-60Sのほかインジケータ、ファインチューニング付のハイエスシリーズ7P-130S (図 15.52) がある。中形は8M-210S、8M-220S (図 15.53) とハイエスシリーズの8M-230S、8M-340Sがある。

大形のものには8L-450S、9L-460S (図 15.54) と3バンドの9L-950S (図 15.55) およびFM付の11L-800Fはいずれもハイエスシリーズである。

ホーム形としては6H-510Sと6N-730 (図 15.56) のように



図 15.52 東芝トランジスタ
ラジオ 7 P-130 S

**Toshiba transistor
radio receiver,
Model 7 P-130 S**



図 15.53 東芝トランジスタ
ラジオ 8 M-220 S

**Toshiba transistor
radio receiver,
Model 8 M-220 S**



図 15.54 東芝トランジスタ
ラジオ 9 L-460 S

**Toshiba transistor
radio receiver,
Model 9 L-460 S**



図 15.56 東芝トランジスタ
ラジオ 9 L-950 S

**Toshiba transistor
radio receiver,
Model 9 L-950 S**



図 15.56 東芝トランジスタ
ラジオ 6 N-730

**Toshiba transistor
radio receiver,
Model 6 N-730**

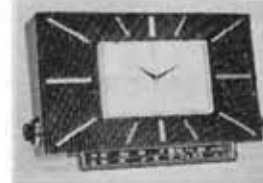


図 15.57 東芝トランジスタ
ラジオ 7 C-700 S

**Toshiba transistor
radio receiver,
Model 7 C-700 S**



図 15.58 東芝レコードプレーヤ TP-97

**Toshiba record player,
Model TP-97**



図 15.39 東芝ポータブル
電番 GP-10 形

**Toshiba portable
phonograph,
Model GP-10**

置物としてもよい機種がある。

時計付きは7C-610Sの卓上形のほかに壁掛としても使用できる7C-700S (図 15.57) がある。

15.6.3 レコードプレーヤおよび電番

東芝レコードプレーヤ TP-97 (図 15.58) は3スピードプレーヤで別の東芝アンプリファイヤ TA-91 を組込むと一般レコードから東芝フォノブックの演奏にも適した簡易電番となる。



図 15.60 東芝ステレオポータブル電蓄 GP-20
Toshiba portable stereo phonograph,
Model GP-20



図 15.61 東芝ファミリーステレオシリーズ 335
Toshiba family stereo series, 335



図 15.62 東芝ファミリーステレオシリーズ 170
Toshiba family stereo series, 170



図 15.63 東芝ファミリーステレオシリーズ 180
Toshiba family stereo series, 180

東芝ポータブル電蓄 GP-10 (図 15.59)、GP-11はアンブスピーカ内蔵の手さげ形でこのほかに2チャンネル組込のステレオポータブル電蓄 GP-20 (図 15.60)がある。DC-601はラジオ付きのトランジスタ式であるから、ハイキングのお伴などに適している。



図 15.64 東芝ファミリーステレオシリーズ 190 C
Toshiba family stereo series, 190



図 15.65 東芝マイスタージグ No. 10 C
Toshiba meister, No. 10 C



図 15.66 スフォルツァンドオルガン C 2 形
Sforzando, Model C 2

東芝ファミリーステレオシリーズ 350, 335 (図 15.61)は東芝独特の共鳴効果を生かした超薄形で、スタイラスファインダまたは残響装置が付加された。250は残響装置とラウドネスコントロールに特徴がある。170 (図 15.62), 180 (図 15.63), 190 (図 15.64), 195のシリーズはDBアーム、MSパラメータ、残響装置、SEC方式、ラウドネスコントロール、シリコンメタルダンパダイヤ針などの各種特徴を持つ高級機種で180, 195はFM付きとなっており、180はFDスピーカシステムが特徴である。

東芝マイスタージグ No. 10 (図 15.65)はプッシュプル増幅器による臨場感あふれる音質と自動演奏機構を持った最高級電蓄である。

15.6.4 音楽楽器

スフォルツァンドオルガン D 1 形および C 2 形 (図 15.66)